

事務事業チェックシート

事務事業No 634 事業名 少年自然の家運営事業

分野別目標	5	子どもが輝き、文化が薫る教育のまち
政策	2	青少年の健全育成
施策	1	青少年の健全育成
基本方針	2	青少年の健全育成環境の充実

事業種別	継続	主な事務事業
事業期間		～ 永年
事業実施の根拠法令	少年自然の家条例	
関連個別計画		
担当課・担当課長 (Tel)	少年自然の家	原田一成 (459-2107)
関連課		

[事業基本情報]

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費
	その他		
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務
	その他		
会計・予算区分	会計	一般会計	
	款	教育費	
	項	教育総務費	
	目	少年自然の家管理費	
	大事業	少年自然の家運営事業	
事項	少年自然の家運営事業		

「3つの約束・44の約束」との関連性

3つの約束	産業を元気に	まちを元気に	人を元気に	非該当
			○	
44の約束				○

1 事業概要及び実施内容

事業概要	事業目的（「誰・何」をどういう状態にする」ための事業か）	事業内容				
	豊かな自然環境の中で、自然観察や探求など自然に親しむ活動や伸び伸びとした野外活動を通し、豊かな情操や創造性を養うとともに集団生活訓練を通じて学校や家庭では会得し難い自立、協同、友愛、奉仕等の尊さを体験的に学習させ、たくましい少年の育成を期する。	心身ともに健やかな少年の育成を目指す場として、家庭教育、社会教育、学校教育の3つの領域の有機的連携を図る場として、家庭や学校では得難い効果を図るため、自然と接することにより自然を愛し、自然を尊ぶ態度を育てるとともに、寝食を共にする集団宿泊生活を体験させることにより仲間作りの場として、連帯、協調の意識を育て、野外活動や体育等様々な活動を通じて絆を深めるとともに意欲的にたくましく生き抜く力を育てる。				
実施内容		平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
		活動事業（主催事業の実施・利用団体への指導、助言）	活動事業（主催事業の実施・利用団体への指導、助言）	活動事業（主催事業の実施・利用団体への指導、助言）	活動事業（主催事業の実施・利用団体への指導、助言）	活動事業（主催事業の実施・利用団体への指導、助言）

2 事業コスト

		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度	
		当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算	計画	決算
事業費等 千円	事業費	1,975	1,751	1,822	1,384	1,748		1,748		1,748	
	伸び率 (%)	-	-	-7.7%		-4.1%		0.0%		0.0%	
	人件費	常勤職員	17,955	18,253	15,700	15,321	14,887		14,887		14,887
		非常勤職員	3,214	3,211	4,014	4,492	4,014		4,014		4,014
		小計	21,169	21,464	19,714	19,813	18,901		18,901		18,901
	国庫支出金	0	0	0	0	0		0		0	
	県支出金	0	0	0	0	0		0		0	
	市債	0	0	0	0	0		0		0	
	その他	1,594	1,129	1,600	1,018	1,492		1,491		1,491	
	一般財源（税等）	381	622	222	366	256		257		257	
所要人数	常勤職員	2.40	2.40	2.07	2.06	1.96		1.96		1.96	
	非常勤職員	1.52	1.52	1.90	2.29	1.90		1.9		1.9	
主な予算内訳		食糧費1,060千円、消耗品費488千円 等									

3 目標及び実績

指標名及び達成状況					平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
活動指標	利用団体数	年度目標値			150	150	150	150	150	
		実績値			129	81				
	単位	団体数	全体目標値			54.0%				
			全体目標達成度			86.0%	54.0%			
成果指標	自主事業開催数	年度目標値			17	12	12	12	12	
		実績値			17	12				
	単位	回	全体目標値			100.0%				
			全体目標達成度			100.0%	100.0%			
年間利用者数	年度目標値	年度目標値			15,000	15,000	15,000	15,000	15,000	
		実績値			14,243	9,680				
	単位	人	全体目標値			64.0%				
			全体目標達成度			94.9%	64.0%			
主催事業の満足度（満足と回答した件数/回答件数）	年度目標値	年度目標値			100	100	100	100	100	
		実績値			100	100				
	単位	%	全体目標値			100.0%				
			全体目標達成度			100.0%	100.0%			

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか		増加している	○	横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か		現行の手段でよい	○	一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か		市が行うべき	○	他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか	○	急いで取り組む		中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない	できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか		達成している(90%以上)	○	おおむね達成(70~90%未満)	達成していない(70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度	○	重要かつ高い貢献度がある		一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し		適正		負担は求められない	○ 見直しが必要

5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実				○
	現状維持				
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	<p>現在、少年の野外活動、集団宿泊体験を通じ、少年の健全育成に成果を上げているが、人件費の抑制、市民サービスの向上を図るうえで、施設の改築後、指定管理者制度の導入を検討する必要がある。</p>
「見直し」 「改善」案	<p>利用者が快適に過ごせるよう、老朽化した当施設の改築を行う。また、改築後の運営・実施体制については以下の3点を検討する。</p> <p>①少子化の影響により現在、小・中学生の利用者が減少傾向にあり、また、高校生・大学生からの利用したいのといあわせがあることから、利用率向上を図るため、青年の利用ができるよう検討する。</p> <p>②市民サービスの向上や経費削減を図るため、指定管理者制度導入について検討する。</p> <p>③改築後、使用料の見直しを検討する。</p>